



# 六中防災 便り

Vol. 3

2016.7.15

7月14日に第一回防災学習会を開催しました。防災学習会は足立区や本木地区が抱える防災課題について、多方面の専門家にお越しいただき、お話を伺う学習会です。第一回は足立区危機管理室 防災計画担当課長の山田 勉様に「足立区の防災想定と取り組み」についてお話いただきました。

お話の冒頭では東京消防庁が作成した「Be Alive」という東京に直下型の震災が発生したと想定したビデオを視聴しました。

男子中学生二人が学校での防災訓練を経験した日に首都直下地震が発生します。塾に行く途中で被災し自宅に戻った主人公は母親と祖母を助けるために、半壊した自宅に潜り込み、近所の消防団の助けを借りながら間一髪二人を助け出します。その直後の余震で家は全壊。その時、友人の父が経営する工場が火事という一報が入り、二人はC級ポンプを消防団の人と一緒に現場に運び、訓練で身につけた知識をフルに使って火事を消しにかかります。

このビデオの中で、特徴的な言葉がありました。それは『**守られる命 から 守る命 へ**』というもの

これは、六中生が目指すべき姿であり、日々の安全指導や避難訓練を一生懸命行うことや地域の防災訓練に積極的に参加することで、他者の命を救うことができる存在となれるということです。防災学習の大切さを再認識しました。

その後の山田様のお話は、近年の被災に対して足立区がとっている行動（熊本へは2度の支援物資搬送を実施。）やいつ起こるかわから



足立区防災ナビ

知っていますか？

ないM7.0規模の地震発生時の被害想定についてです。

足立区内 1万棟以上の倒壊、700人以上の死亡。停電 25%、ガス停止 100%、上水道使用不可 50%といった被災予想とのことで、日ごろからの備えの大切さを再認識しました。

また、足立区の特徴としては、川に挟まれた平地であり、地盤は軟弱な沖積層であるため、地震の際は液状化現象が心配されていること。また、本木地区や千住地区は木造家屋が密集している場所が多く、火事が起きたら燃え広がることは必須である。というお話でした。

足立区の取り組みについても写真を交えてお話いただきました。北千住駅前にある情報板や各避難所の備蓄品の紹介をしていただきました。中でもすぐに役立つような情報が、スマホアプリの「足立区防災ナビ」です。大変便利な機能がたくさんあり、使用したいアプリです。

最後に、「地震だ火を消せ！」はもう古く、「地震だ身を守れ！」という意識で、自助活動を行うことが必要である。今後4年以内に50%の確率で発生するM7.0以上の地震発生に向けて、日々の訓練や準備を徹底し、対応してほしいとお話をいただきました。

今後も学習機会を用意しています。ふるって参加してください。

## 「足立区防災ナビ」の特徴

あだち防災マップやハザードマップの表示、避難所等へのナビ、足立区公式ホームページの新着情報(RSS)や足立区公式Twitterの表示、懐中電灯や笛等、通常は個別に起動する必要がある機能を「足立区防災ナビ」一つで実現。また施設一覧からも地図の表示やナビ、電話が可能です。足立区内の救急指定病院やコンビニエンスストア、ガソリンスタンド等の検索もでき、災害時だけでなく普段からご使用いただけます。

### 【メニュー画面】

1. 足立区防災マップ
2. 足立区防災ガイド
3. 防災・防犯懐中電灯
4. 防災・防犯ふえ
5. 足立区施設リスト(区の施設、救急病院、コンビニ、ガソリンスタンド、飲食チェーンなど)
6. 足立区公式Twitter
7. Aメール紹介・登録
8. 足立区RSS
9. 足立区ライブカメラ
10. 防災関連リンク集(気象・電気・ガス・水道・電話・鉄道等)



